資料　1

令和8年度

高松市美術館協議会資料

美 術 館 美 術 課

目　　次

令和7年度事業報告

1 高松市美術館

（1） 展覧会・貸館 1

（2） 教育普及活動 3

（3） 芸術的催し物 11

（4） 施設の提供 12

（5） 美術資料の収集等 12

（6） 美術館ボランティアの活動 15

（7） 高松市美術館サポートショップ事業 16

（8） ブランチギャラリー 16

（9） ICTの活用 16

（10） キャッシュレス化 16

（11） 自己評価 17

（12） 「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト 17

2 高松市塩江美術館

（1） 展覧会・貸館 18

（2） 教育普及活動 19

（3） 芸術的催し物 21

（4） 公有財産目的外使用（貸出） 21

（5） 美術資料の収集 21

（6） 自己評価 22

令和8年度事業計画

1 新規事業等 23

2 高松市美術館 25

3 高松市塩江美術館 28

4 令和8年度予算 30

令和7年度事業報告

1 高松市美術館

年間利用者数等 246,795人(開館日数 309日)

(1) 展覧会・貸館

美術館主催展として「特別展」及び「コレクション展」を開催するとともに、貸館として一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリー等を美術団体・個人や小グループ等の利用に供した。

ア 展覧会

・開催展数 58展(第43回日本伝統漆芸展・貸館を含む)
・開催日数 729日間
・入場者数 131,052人(1日平均 179.8人)

(ア) 特別展

・開催展数 4展
・開催日数 190日間
・入場者数 42,682人(1日平均 224.6人)

展覧会名	会期	日数(日)	入場者数(人)	展覧会の内容
エドワード・ゴーリーを巡る旅	4/12(土) ～6/8(日)	50	10,665	不思議な世界観とモノトーンの緻密な線描で世界中に熱狂的なファンをもつ絵本作家エドワード・ゴーリー(Edward Gorey, 1925-2000)。絵本以外にも、挿絵、舞台と衣装のデザイン、演劇やバレエのポスターなどに多彩な才能を発揮した。 本展は、「子ども」「不思議な生き物」「舞台芸術」などをテーマに約 250 点の作品・資料を紹介し、米国東海岸の半島に残る古い邸宅へと旅をするように、達観したクールな死生観を持つ謎めいた作品を楽しんでいただいた。
石田尚志 絵と窓の間	8/8(金) ～10/5(日)	51	8,728	画家／映像作家の石田尚志(1972年東京生まれ)は、自らが描いた絵画を連続的に撮影する手法(ドローイング・アニメーション)で制作した映像作品により、1990年代から国内外で評価されてきた。 2015年以来の大規模な個展となる本展では、映像と立体を組み合わせた近年の主要なインスタレーションをはじめ、10代から最新作の「絵画」に至るまで約80点の作品を展観し、石田の仕事を概観した。
蒟醤 山下義人展	10/11(土) ～11/24(月・振休)	39	4,937	山下義人は1951年に高松市に生まれ、香川県立高松工芸高校を卒業後、磯井正美に師事、1976年に上京した後は田口善国に師事した。2013年には蒟醤(きんま)の技法で重要無形文化財保持者に認定された。 本展では、第58回日本伝統工芸展で日本工芸会保持者賞を受賞した《くれない 蒟醤箱》をはじめ、巧みな技によって生み出された作品を公私のコレクションから多数紹介し、公立美術館で初めて開催する山下の回顧展となった。

展覧会名	会期	日数(日)	入場者数(人)	展覧会の内容
アニメーション美術の創造者 新・山本二三展	1/31(土) ～3/29(日)	50	18,352	『天空の城ラピュタ』、『火垂るの墓』、『もののけ姫』、『時をかける少女』など誰もが知る国民的アニメーション映画で美術監督を務めた山本二三(1953-2023)。 本展では、山本がこれまで手がけてきた初期から晩年までの手描き背景画に加え、制作の過程で生み出された、未公開の美術設定やイメージボード、制作用具など約220点を紹介し、その詩情溢れる背景美術の世界に迫った。
合計		190	42,682	

（イ）コレクション展

・開催展数　5展(「第43回日本伝統漆芸展」を含む)
・開催日数　295日間
・入場者数　35，472人(1日平均　120.2人)

展覧会名	会期	日数(日)	入場者数(人)	展覧会の内容
第1期	4/5(土)～6/29(日)	74	7,923	展示室1　Welcome to Takamatsu Art Museum!!―2023、24年度新収蔵作品を中心に 展示室2　香川の工芸―2024年度新収蔵作品を中心に
第2期	7/5(土)～9/28(日)	75	10,053	展示室1　1960年代の美術―菊畑茂久馬を中心に 展示室2　いきもの図鑑―香川の漆芸と金工
第3期	10/1(水)～12/27(土)	76	8,297	展示室1　コレクションに見る「瀬戸内国際芸術祭2025」の作家たち 展示室2　讃岐漆芸に見る抽象―「蒟醤(きんま)」を中心に
第4期	1/6(火)～3/29(日)	70	9,199	展示室1　未来をひらく「美術」―戦後香川と高松市美術館 展示室2　讃岐漆芸の美 ※3/14(土)～29(日)の期間は、常設展展示室1において「第43回日本伝統漆芸展」を開催。[＊3,140人]
合計		295	35,472	

イ　貸館

（ア）一般展示室・企画展示室(講堂を含む)

・開催展数　15展
・開催日数　67日間
・入場者数　29，927人(1日平均　446.7 人)

展覧会名	会期	日数(日)	入場者数(人)	展覧会の内容
第51回 高松市民美術展	4/1(火)～4/6(日)	6	1,617	各会の会員の作品
独立美術四国会展	7/8(火)～7/13(日)	6	681	同会会員の絵画の作品
第17回記念展 一榮会書展	7/11(金)～7/13(日)	3	575	同会会員の書の作品

展覧会名	会期	日数(日)	入場者数(人)	展覧会の内容
第49回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門	7/26(土)～7/30(水)	5	5,059	全国の高校生の美術・工芸作品
香川の日本画展	10/15(水)～10/19(日)	5	874	日本画・水墨画・墨彩画の作品
第66回墨華書道展	11/28(金)～11/30(日)	3	1,995	同会会員の書の作品
第52回毎日書道学会展	12/5(金)～12/7(日)	3	848	書の作品
第11回ふるさと美術展	12/10(水)～12/21(日)	11	1,649	助成者の絵画等の作品
cocokara Japan ART 2025	12/19(金)～12/21(日)	3	692	主催者の公募作品
2025香川県美術家協会展	12/24(水)～12/28(日)	5	1,013	同会会員の作品
第42回香川県高等学校総合文化祭 美術・工芸展	1/9(金)～1/12(月・祝)	4	632	県内高校生の美術・工芸作品
第42回香川県高等学校総合文化祭 書道部門	1/9(金)～1/12(月・祝)	4	626	県内高校生の書の作品
令和7年度高松市教育文化祭	1/16(金)～1/18(日)	3	6,681	市内小・中学校児童・生徒の作品
第21回香川県小中学校総合文化祭	1/16(金)～1/18(日)	3	6203	県内小・中学校児童・生徒の作品
第52回四国書道展	1/23(金)～1/25(日)	3	782	書の作品
合計		67	29,927	

（イ）市民ギャラリー

・開催展数　34展
・開催日数　177日間
・入場者数　22，971人(1日平均　129.8人)

（2）教育普及活動

特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やトーク等を開催した。また、子どもから大人まで幅広い世代を対象に各種ワークショップ等を開催した。

ア　記念講演会等(場所は講堂、ただし＊印はエントランスホール)

開催日	講師・出演者	内容	参加者数(人)
4/12(土)	三浦篤(東京大学名誉教授・大原美術館館長)	記念講演会 「西洋美術史からみたエドワード・ゴーリー」	138
5/3(土)	柿木原政広(グラフィックデザイナー・絵本作家)	記念講演会 「エドワード・ゴーリーのグラフィックデザイン」	76
6/7(土)	小川信治(美術家)	出品作家トーク＊ 「小川信治、自作を語る」	41
8/9(土)	石田尚志(出品作家)	アーティストトーク	57
10/5(日)	石田尚志(出品作家) 三本松倫代(神奈川県立近代美術館主任学芸員) サイトウマド(漫画家)	クロージングトーク＊ 一部「駒場寮から絵と窓の間へ」 二部「異境を巡る絵画と漫画」	68

開催日	講師・出演者	内容	参加者数(人)
10/19(日)	唐澤昌宏(国立工芸館館長) 山下義人(出品作家)	記念対談 「蒟醤　山下義人のわざ」	53
1/31(土)	山本鷹生(絵映舎プロデューサー、山本二三美術館副館長)	記念講演会1 「山本二三 絵にかけた人生と情熱」	92
2/11(水・祝)	usaginingen(平井伸一、平井絵美) 金島隆弘(金沢美術工芸大学芸術学専攻SCAPe准教授) 柴田悠基(香川大学創造工学部講師)	アーティストトーク*	45
2/28(土)	久慈達也(本展監修者、DESIGN MUSEUM LAB代表京都芸術大学准教授)	記念講演会2 「記憶色の背景　山本二三の美術」	112
3/1(日)	石田尚志(美術家) 毛利義嗣(インディペンデント・キュレーター)	映像講座「大木裕之　都市と映像」	47
合計			729

イ　アートアドバイザー講座(場所はエントランスホール)

開催日	講師	ゲスト	内容	参加者数(人)
5/17(土)	原　久子 (当館アートアドバイザー)	鴻池朋子(美術家)	vol.9 鴻池朋子さんに「行動展示」について聞く	67
8/2(土)		やんツー(美術家)	vol.10 やんツーさんに聞く―源内的創造力に挑む?!	46
9/28(土)		中田耕市(MIMOCA副館長)、黛友明(香川県立ミュージアム専門学芸員)、毛利直子(高松市美術館学芸員)	vol.11 香川、3つの現代アート展をめぐって	61
10/26(土)		矢ヶ崎善太郎(大阪電気通信大学教授)	vol.12 建築のお話―数寄屋造りから香川の近代建築まで	42
3/21(土)		後藤健吉(漆芸家)、orm 藤井智也、高橋ちかや(美術家、ギャラリーSyndicate運営)、柴田早穂(鋳金作家)	vol.13 香川で創作を続けること	30
合計				246

ウ　ギャラリートーク(こども向けギャラリートーク、列品解説含む)

（ア） 特別展

展覧会名	開催日	担当者	参加者数(人)
エドワード・ゴーリーを巡る旅	4/13(日)	担当学芸員	52
石田尚志　絵と窓の間	8/10(日)・ 9/15(月・祝)	担当学芸員	54
蒟醤　山下義人展	10/12(日)	山下義人(重要無形文化財「蒟醤」保持者) ＊列品解説	51

展覧会名	開催日	担当者	参加者数(人)
	10/26(日)	山下亨人(公益社団法人日本工芸会正会員) ＊列品解説	40
	11/15(日)	担当学芸員 ＊こども向けギャラリートーク	13
アニメーション美術の創造者　新・山本二三展	2/1(日)	担当学芸員	80
合計			290

※参加者数は展覧会入場者数と重複

（イ） コレクション展

展覧会名	開催日	担当者	参加者数(人)
第1期	6/22(日)	担当学芸員	10
第2期	7/19(土)	担当学芸員	21
第3期(展示室2)	10/25(土)	担当学芸員	10
第3期(展示室1)	12/6(土)	担当学芸員	28
第4期	2/7(土)	担当学芸員	36
第43回日本伝統漆芸展	3/14(土)	藪内江美(公益社団法人日本工芸会正会員) ＊列品解説	28
	3/28(土)	孝史(公益社団法人日本工芸会正会員) ＊列品解説	40
合計			173

※参加者数は展覧会入場者数と重複

エ ワークショップ

開催日	講師	内容	対象	場所	参加者数(人)
4/19(土)	当館学芸員	指人形一座と船で行く大島ツアー (コレクション展1関連)	小学生から大人まで	大島	13
4/27(日) 5/5(月・祝) 5/11(日)	当館学芸員	《指人形》と遊んでみよう！ (第1期コレクション展関連)	子どもから大人まで	常設展示室	63
5/18(日)	当館学芸員	《指人形》と遊んでみよう！ (英語バージョン)(第1期コレクション展関連)	子どもから大人まで	常設展示室	23
6/1(日)	当館学芸員	指人形一座とバスで行く塩江美術館ツアー(第1期コレクション展関連)	小学生から大人まで	高松市塩江美術館	17
7/20(日) 午前／午後	竹森 滉(漆芸作家)	漆の研ぎ出しキーホルダーをつくろう	小学生	講座室	34
8/3(日) 午前／午後	矢野恵利子(美術家)	立体まんがをつくろう	小学生	講座室	36

開催日	講師	内容	対象	場所	参加者数(人)
10/4(土) 午前／午後	小松ちか(芸術士・版画家)	ハロウィンお菓子な紙版画を刷ろう！	5歳以上	講座室	39
10/26(日) 午前／午後	当館学芸員	モンスターキャップをつくろう！	子どもから大人まで	こども＋	26
2/1(日)	山本鷹生(絵映舎プロデューサー、山本二三美術館副館長)	ゾートロープを作ろう	小学3年生以上	講堂	16
2/11(水・祝)・ 2/23(月・祝)	当館学芸員	大人のためのアートで遊ぼう	一般	講座室他	20
3/7(日)	平井絵美 (usaginingen)	見えないものをカタチにしよう！	小学生から大人まで	講座室	10
3/20(金・祝) 午前／午後	金沢健一(彫刻家)	もうすぐ春！ワークショップまつり 「音とあそぼう！」	子どもから大人まで	エントランスホール	13
3/21(土)	柴田早穂 (鋳金作家)	もうすぐ春！ワークショップまつり 「たのしいメタルオブジェづくり！」	子どもから大人まで	講座室	13
3/22(日) 午前／午後	Yuka Mizuhara (写真家)	もうすぐ春！ワークショップまつり 「サイアノタイプでオリジナル写真を作ろう！」	子どもから大人まで	講座室	15
合計					338

オ　ふらっとアート

子どもを始め、来館者が気軽(プラス)にアートを楽しむことのできる空間として、2016年のリニューアルにより中2階に新設された「こども＋（こどもアートスペース）」において、様々なアートプログラムを開催。

（ア）「こども＋（こどもアートスペース）」利用者数　8，321人

（イ）アートプログラム

開 催 期 間	内　容	参加者数(人)
4/1(火)～4/11(金)	春のお出かけバックをつくろう	200
4/1(火)～6/8(日)	ふらっとゴーリー	1,235
4/1(火)～6/8(日)	みんなで描こう！ゴーリー・ワールド	1,178
6/10(火)～8/17(日)	夏のつめた～いドリンクをつくろう	821
8/8(金)～10/5(日)	色と形と時間を重ねよう	1,293
9/30(火)～10/31(金)	へんしん★モンスターキャップ	432
10/11(土)～11/24(月・祝)	お天気モビールをつくろう	289
11/26(水)～1/25(日)	グリーティングカードをつくろう	1,776
1/31(土)～3/29(日)	チャレンジ！セルアニメ	1,097
合計		8,321

カ イベント(企画展・公開制作・パフォーマンスなど)

開催日	出演・講師等	内容	場所	参加者数(人)
4/1(火) ～3/31(火)		作品展示(鴻池朋子、飯川雄大)	エントランスホール	11,706
4/12(土) ～6/8(日)？		特別展「エドワード・ゴーリーを巡る旅」関連 Instagramストーリーズ投稿キャンペーン		57
5/17(土)	協力:英会話ジェムスクール	特別展「エドワード・ゴーリーを巡る旅」関連 英語で読み聞かせ会	2階展示室	36
3/29(土) ～5/25(日)	主催:高松市美術館 協力:日本デザインセンター、株式会社アートフロントギャラリー、NPO法人瀬戸内こえびネットワーク、瀬戸内国際芸術祭実行委員会	特別企画「デザインでたどる瀬戸内国際芸術祭　15年の歩み」	中2階ロビー	6,892
8/8(金)・9(土)・11(月・祝)・15(金)・16(土)・17(日)・22(金)・23(土)・24(日)		特別展「石田尚志　絵と窓の間」関連イベント 美術館外壁映像プロジェクション	荷受前外壁	619
8/24(日)	石田尚志(美術家) O JUN(美術家)	特別展「石田尚志　絵と窓の間」記念パフォーマンス 「O JUN／ISHIDA Takashi:『交戦／光線』」	エントランスホール	120
9/30(火) ～10/31(金)	協力:高松市内中学校美術部(6校)	ハロウィン・フォトスポット	中2階ロビー	—
10/11(土) 午前／午後	岡野弘幹(音楽家・サウンドアーティスト)	特別展「山下義人展」オープニング記念イベント 岡野弘幹コンサート「音霊の刻～蒟醤に捧ぐ～」	エントランスホール	183
11/7(金) ～11/30(日)	(展示協力)さざなみ漆器、さぬきうるしSinra、大川原染色本舗、AJI PROJECT、うるしの漆原	「高松市伝統的ものづくり」紹介展示	中2階ロビー	3,204
12/17(水) ～1/12(月・祝)	主催:香川県、東京藝術大学、香川大学 共催:高松市美術館	香川県・東京藝術大学・香川大学　瀬戸内海分校プロジェクト かがわアートスタディーズU18 「第4回　海は人を愛する」	中2階ロビー	4,927
1/29(木) ～2/23(月・祝)	主催:香川大学附属高松小学校 共催:高松市美術館	展示「わたしたち赤2組は考える展」	中2階ロビー	3,883

開催日	出演・講師等	内容	場所	参加者数(人)
2/10(火) ～3/8(日)	usaginingen	usaginingen 「トンビとウサギ、賑わいのとなりで／Beside bustle, Sky and Earth #1」	エントランスホール	2,375
3/5(木)	内橋和久(ミュージシャン)、平井絵美(usaginingen)	ライブペインティング	エントランスホール	100
3/7(土)	usaginingen(平井伸一、平井絵美、平井海凪)	usaginingenパフォーマンス公演 「トンビ 魂の鼓動／Black Kite Pulsation of Souls」	エントランスホール	174
3/20(金)	金沢健一(彫刻家)	金沢健一パフォーマンス 「音とあそぼう！」	エントランスホール	114
3/21(土) ～4/12(日)	主催:東京藝術大学、香川大学、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会 共催:高松市美術館	東京藝術大学×香川大学　せとうち　ART＆SCIENCE ジオアート/GEOART 「沈降と隆起　―大地を泳ぐために」	中2階ロビー	－
合計				34,390

キ　出前講座等(館外でのアウトリーチ活動等)

開催日	講師	内容	開催場所	参加者数(人)
9/13(土)	当館学芸員	アートで遊ぼう！	岡本荘老人介護支援センター	23
9/17(水)			栗林老人クラブ連合会	50
10/16(木)			就労移行支援センターヒトトコ	20
11/23(日)			高松市知的障がい者青年教室(通称:スキップクラブ)	55
1/15(水)			クローバーシニアクラブ(老人会)	9
1/18(日)			認可地緑団体 石ヶ鼻グリーンライフ国分台自治会	14
2/7(土)			高松市生涯学習センターまなびCAN	3
11/16(日)	当館学芸員	出張美術館 「江戸の浮世絵入門編」	男女共同参画センター	15
合計				189

ク　美術館学習等

屋島・美術館学習等と連携させた美術館での鑑賞・施設学習を実施した。

屋島・美術館学習参加校のうち、引き続き美術館での学習を希望する小学校を受け入れ、展覧会の団体鑑賞や施設見学を行った。

・実施期間　令和7年9月25日～令和8年1月30日
・参加校等　高松市立小学校　17校
・参加者数　987人(引率者を含む)

※屋島・美術館学習以外の美術館学習
・参加校(小・中・高等学校等)　43校
・参加者数　1，216人

ケ　学校との連携事業

高松短期大学において前期授業「芸術文化」（全15回）を行ったほか、作家の作品を学校に持参して鑑賞プログラムの展開や、イベントに関連した作品制作をした。

実施日	内容	参加者	開催場所	参加者数(人)
4/10(木) ～7/17(木)	前期授業「芸術文化」 （全15回）	高松短期大学ビジネスデザイン学科履修生	高松大学・ 市美術館	21
制作:7/18(金) ～9/26(金) 設置:9/27(土)	ハロウィン・フォトスポットの制作及び展示	高松市立一宮・木太・香東・紫雲・下笠居・玉藻中学校美術部員	各学校・ 市美術館	148
3/4(水)	お出かけ美術館	鶴尾小学校3年生	学校	25
合計				194

コ　高松市美術館の日

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう、また、高松市美術館が昭和63年8月6日（土）に開館したことにちなみ、8月の第1土曜日を「美術館の日」と定め（平成21年7月）、多くの市民が集い、楽しみ、にぎわう美術館となるよう観覧料の免除や親子で楽しめるイベント「ふらっとアート」などを実施した。ただし、令和7年度は、第49回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門（7/26～7/30）の開催及び撤去作業のために、8月の第1土曜日から8月23日（土）に開催を変更した。

主な事業等	観覧者等数(人)	
特別展	観覧者	1,679
コレクション展	観覧者	1,468
展示室での鑑賞を促す鑑賞カード	利用者	849
ふらっとアート	参加者	361
TKMT（パズル）	参加者	35
TKMT（カード）	参加者	325
消しゴム版画　＊友の会主催	参加者	96
合計		4,813

※参加者数4,813人は展覧会入場者数と重複

サ　博物館実習・インターンシップ・職場体験等

実施日	内容	参加者	参加者数(人)
8/14(木)～20(水)	市役所インターン	香川大学	2
8/18(月)～24(日)	博物館実習	京都女子大学ほか7校	9
9/10(水)～9/11(木)	職場体験	高松市立庵治中学校	1
9/25(木)～9/26(金)	職場体験	高松市立龍雲中学校	4
9/29(月)～9/30(火)	職場体験	高松市立桜町中学校	4
10/1(水)～10/2(木)	職場体験	高松市立太田中学校	3
10/1(水)～10/2(木)	職場体験	高松市立玉藻中学校	2
10/28(火)～ 10/30(木)	職場体験	高松市立木太中学校	4
11/11(火)～11/13(木)	職場体験	高松市立高松第一中学校	3
10/21(火)～11/13(木)	臨地実務実習	せとうち観光専門職短期大学	1

実施日	内容	参加者	参加者数(人)
11/19(水)	高松市新規採用職員第Ⅱ部研修	新規採用職員	44
合計			77

シ 美術館友の会イベント

開催日	事業名	参加者数(人)
7/5(土)	友の会ふれあいコンサート「コンセールアントリオ」 ～歌とクラリネットとチェンバロで奏でる夏の夜～	141
8/23(土)	消しゴム版画体験コーナー	96
11/19(水)	美術鑑賞旅行「神戸アートツアー」	39
合計		276

※会員数 144 人
(R8.3.31 現在)

ス 動画配信等

新たな美術鑑賞の手法として、展覧会作品解説や簡単な作品作りのほか、講演会やアートアドバイザー講座などをYouTube等で動画配信した。合計45，405人。

※令和2年5月28日から公開開始

(ア) 動画配信数

公開月(1か月間)	配信本数(本)	視聴者数(人)
4月	1	1,837
5月	1	2,967
6月	0	2,893
7月	2	4,917
8月	3	9,289
9月	1	6,911
10月	5	9,964
11月	3	1,528
12月	1	1,352
1月	2	1,598
2月	0	1,084
3月	0	1,065
合計	19	45,405

(イ) 配信プログラム詳細(YouTube ☆印はInstagram)

開始日	内容
4/26(日)	特別展「エドワード・ゴーリーを巡る旅」関連
5/10(土)	磯井如真《雉 香合》(1940年)作品紹介
7/4(金)	夏のつめた～いドリンクをつくろう
7/13(日)	夏のつめた～いドリンクをつくろう☆
8/5(火)	ビー玉コロコロアート☆
8/9(土)	海のいきものをつくろう！☆
8/18(月)	紙コップのパクパ人形をつくろう！☆

開始日	内容
9/23(火)	石田尚志 絵と窓の間 紹介動画☆
10/11(土)	へんしん★モンスターキャップ
10/11(土)	山下義人展 作品紹介:《くれない 蒟醤箱》2005 (平成17年)高松市美術館蔵☆
10/16(木)	山下義人展 作品紹介:《山滴る 蒟醤箱》2014 (平成26年) 高松市美術館蔵☆
10/24(金)	山下義人展 紹介動画☆
10/31(金)	山下義人《山滴る 蒟醤箱》(2014年)作品紹介
11/28(金)	山下義人《くれない 蒟醤箱》(2005年)手話作品紹介
11/28(金)	山下義人《波がさね 蒟醤色紙箱》(1998年)手話作品紹介
11/28(金)	山下義人《蒟醤 石畳 箱》(1987年)手話作品紹介
12/8(月)	さんかく△でクリスマスカードをつくろう
1/18(日)	磯井如真《乾漆 花器》(1952年)手話作品紹介
1/18(日)	大岩オスカール《虹》(2003年)手話作品紹介

(3) 芸術的催し物

ア ミニコンサート等

特別展会期中に、県内演奏家等によるミニコンサートをエントランスホールで開催した。

開催日	行事名	監修・出演等	関連する展覧会	参加者数(人)
5/31(土)	絵本の中から生まれた音楽	佐竹朝子(ソプラノ)、西浦弘美(ヴァイオリン)、大山まゆみ(ピアノ)、コレギウム・ムクジム高松女声アンサンブル	エドワード・ゴーリーを巡る旅	94
8/16(土)	石田尚志－創作を紡ぐ音－(Ⅰ部、Ⅱ部)	香川大学ウィンド・アンサンブル、青山夕夏(監修)、協力:香川大学	石田尚志 絵と窓の間	83
11/9(日)	山下義人－光と風のあわい－	北野あゆな・金岡夏希(クラリネット) 安友孝宣(サクソフォーン)、長岡佐和・渡辺真生・中村日瑶里(ピアノ)、 青山夕夏(監修)、協力:香川大学	蒟醤 山下義人展	78
3/14(土)	アニメを彩る歌	大山晃(バリトン)、森美由紀(ソプラノ)、藤田哲史(フルート)、大山まゆみ(ピアノ)	アニメーション美術の創造者 新・山本二三展	230
合計				485

イ エントランスホール活用事業(公募企画)

エントランスホールの活用を図り、来館者に気軽に文化芸術に触れてもらうため、コンサートやダンス公演等で同ホールを利用する団体を募集した。

開催日	行事名	出演者等	主催団体	参加者数(人)
6/14(土)	美術館のNOODLE CRAZY MONKEY ＊	藤原清登(ダブルベース)、河西那都(ヴォーカル)	GARGANTUA(藤原清登)	126
6/21(土)	音楽のおくりもの ＊	浅田萌(ピアノ)、大久保かおり(クラリネット)	M.A.コンサート実行委員会	91
6/28(土)	お箏で美術館めぐり～演奏と共にお出かけ気分に～ ＊	豊千会合奏団(三絃ほか)、野村云山(尺八)他	豊千会合奏団	152
7/5(土)	美術館コンサート－星空へのいざない－ ＊		邦楽アンサンブル煌	177

開催日	行事名	出演者等	主催団体	参加者数(人)
7/6(日)	和んさんぶる・ド・ミュゼ～美術館de舞う～		愛歌会	108
7/12(土)	クラシック名曲コンサート ＊		高松交響楽団	211
11/29(土)	踊り場2025『美術館パフォーマンスDANCEミテミテヨ』(2回公演)		踊り場実行委員会(みゆきバレエスクール)	357
12/27(土)	オルタナティブ第7回演奏会 ＊	混声合唱(約40名)、チェンバロ(石川陽子)	混声合唱団 オルタナティブ	392
合計				1,614

＊印は、コンサート

ウ エントランスホール共催事業

開催日	行事名	出演者等	主催団体	参加者数(人)
11/2(日)	第8回たかまつ国際古楽祭 ガラ・コンサート ＊	芸術監督:柴田俊幸	たかまつ国際古楽祭実行委員会	222
11/3(月・祝)・11/8(土)	第16回街クラシック in 高松 ＊	小原彩乃(ハープ)他	街クラシック in 高松実行委員会	340
11/30(日)	墨華書道展 表彰式		墨華書道会	410
12/3(水)	高松市アートリンク事業ダンスパフォーマンス	朝日平成園	高松市障がい福祉課	54
12/7(日)	毎日書道学会展 表彰式		毎日書道学会	140
12/13(土)・14(日)	よんでんアンサンブルコンサート ＊	石川陽子(チェンバロ)他	公益財団法人 よんでん文化振興財団	310
合計				1,476

＊印は、コンサート

(4) 施設の提供

講堂を講演会・コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供した。また、美術図書コーナーを一般利用者に開放した。

施設名	利用回数等	利用者数(人)
講堂	43(回)	2,991
講座室	526(回)	6,385
美術図書コーナー	309(日)	10,424
合計		19,800

(5) 美術資料の収集等

ア 収集の方針

収集対象を香川の美術と戦後の美術に大きく分け、香川の美術では、伝統的な漆工と金工に重点を置いて収集する。また、戦後の美術では、国内作家については、1945年以降の現代美術に的を絞り、外国作家は日本の戦後美術史の流れに多大な影響を与えた20世紀初頭から現代に至る作品を版画で系統的に収集する。

イ 美術資料等の収集

美術品の収集方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入したほか、寄贈による美術品の収集に努めた。また、二次資料として美術図書及び映像資料を継続的に収集した。

（美術品）　　（単位:点）

区分		洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
令和7年度	購入	3	—	1	2	—	6
	寄贈	28	—	—	4	—	32
合計		31	—	1	6	—	38
累計		876	46	278	618	16	1,834
内訳	購入	669	24	245	400	12	1,350
	寄贈	207	22	33	218	4	484

（図書）　　（単位:冊）

区分	購入	寄贈	除籍	計	累計
美術図書	88	132	0	220	33,988
展覧会図録	8	528	0	536	21,697
合計	96	660	0	756	55,685

■新規収蔵作品

区分	種別	作品名(制作年)	作家名
購入	平面･油彩	同じ大きさの窓(2023年)	石田 尚志
	平面･映像	正方形の窓(2015年)	石田 尚志
	平面･油彩	Lost in Thought 246(2026年)	平子 雄一
	立体･彫刻	Wolf Bench-Takamatsu(2026年)	鴻池 朋子
	工芸･漆芸	堆黒食籠 稲穂蝗図(1920年)	森 象堂
	工芸･金工	五山文金彩香爐(制作年不詳)	北原 千鹿
寄贈	平面･油彩	懸垂幕のための絵(2025 年)	石田 尚志
	平面･映像	懸垂幕のための絵(2025 年)	石田 尚志
	平面･映像	養生絵画(2025 年)	石田 尚志
	平面･素描	青のドローイング(2022-23 年)	石田 尚志
	平面･素描	無題(樹)(1990年頃)	石田 尚志
	平面･油彩	エンピツ(1972 年頃)	上田 薫
	平面･油彩	流れ T(1997 年)	上田 薫
	平面･油彩	Sky J(2004 年頃)	上田 薫
	平面･油彩	Sky K(2004 年)	上田 薫
	平面･油彩	高松の島(2025 年)	O JUN
	平面･油彩	海(2025 年)	O JUN
	平面･油彩	海(2025 年)	O JUN
	平面･油彩	タイトル不詳(2009 年)	大木 裕之
	平面･油彩	タイトル不詳(2009 年)	大木 裕之
	平面･油彩	タイトル不詳(2009 年)	大木 裕之
	平面･油彩	タイトル不詳(2004 年？)	大木 裕之
	平面･油彩	タイトル不詳(2009 年？)	大木 裕之
	平面･素描	タイトル不詳(2009 年)	大木 裕之
	平面･素描	タイトル不詳(2009 年)	大木 裕之

区分	種別	作品名(制作年)	作家名
	平面・素描	タイトル不詳(2009 年)	大木 裕之
	平面・素描	タイトル不詳(2014 年)	大木 裕之
	平面・素描	タイトル不詳(2014 年)	大木 裕之
	平面・素描	タイトル不詳(2014 年、2015 年か？)	大木 裕之
	平面・映像	ダママ 110218mix(2011 年)	大木 裕之
	平面・映像	ダママ 110507mix(2011 年)	大木 裕之
	平面・映像	松前君の赤い映画 110510mix(2011 年)	大木 裕之
	平面・映像	リダ 111108mix(2011 年)	大木 裕之
	平面・素描	090823(2009 年)	大木 裕之
	工芸・漆芸	木暮の径 蒟醤盛器(1998 年)	山下 義人
	工芸・漆芸	蒟醤饌盒(1861 年)	藤川黒斎(初代文綺堂黒斎)
	工芸・漆芸	蒟醤料紙盆硯匣(制作年不詳)	藤川蘭斎(二代目文綺堂蘭斎)
	工芸・金工	双鹿(制作年不詳)	大須賀 喬

ウ 作品貸出実績

猪熊弦一郎博覧会に(資料)原稿「高松美術館要覧」1948～50年代初頭を貸出したのを始め6展覧会に合計15点作品を貸出した。

1	猪熊弦一郎博覧会 貸出先 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　　貸出期間 2025/4/12～7/6		
(1)	―	(資料)原稿「高松美術館要覧」1948～50 年代初頭	
2	OPAM開館 10 周年記念「LINKS―大分と、世界と。」 貸出先 大分県立美術館　　貸出期間 2025/4/26～6/22		
(1)	篠原 有司男	女の祭	1969
(2)	吉村 益信	Wings with Mirrors	1966-67
(3)	三木 富雄	耳	1964-65
(4)	工藤 哲巳	あなたの肖像	1963
3	岡﨑乾二郎 而今而後 ジコンジゴ 貸出先 東京都現代美術館　　貸出期間 2025/4/29～7/21		
(1)	岡﨑 乾二郎	あかさかみつけ	1981
(2)	岡﨑 乾二郎	うぐいすだに	1981
(3)	岡﨑 乾二郎	そとかんだ	1981
(4)	岡﨑 乾二郎	斧を磨いて針にする	1986
4	アンチ・アクション 彼女たち、それぞれの応答と挑戦 貸出先 豊田市美術館　　貸出期間 2025/10/4～11/30 東京都国立美術館　　12/16～2026/2/8 兵庫県立美術館　　2026/3/25～5/6		
(1)	福島 秀子	作品 109	1959
(2)	白髪 富士子	作品 No.1	1961
5	MOTコレクション マルチプル_セルフ・ポートレイト 中西夏之 池内晶子―弓形とカテナリー 貸出先 東京都現代美術館　　貸出期間 2025/12/25～2026/4/2		

(1)	ユアサ エボシ	GHQ PORTRAITS	2017
(2)	ユアサ エボシ	軍装姿の自画像 ＊150 点のうち 12 点	2022
6	中村宏展 アナクロニズム(時代錯誤)のその先へ 貸出先 静岡県立美術館　　貸出期間 2026/1/20～3/15		
(1)	中村 宏	聖火千里行	1964
(2)	中村 宏	望遠鏡・富士山（女学生に関する芸術と国家の諸問題）	1967

エ 作品図版掲載実績

文部科学省検定教科用図書 高等学校芸術科美術Ⅱ 令和9年度版「新・高校生の美術2」に森村泰昌作《たぶらかし(マルセル)》への掲載を始め、6媒体に11作品の図版が掲載された。

1	文部科学省検定教科用図書 高等学校芸術科美術Ⅱ 令和9年度版「新・高校生の美術2」、2027年4月発行		
(1)	森村 泰昌	だぶらかし(マルセル)	1988
2	香川大学教育学部 苅谷麻子、物理教材開発等		
(1)	福田 美蘭	幼児キリストから見た聖アンナと聖母	1992
(2)	福田 美蘭	帽子を被った男性から見た草上の二人	1992
(3)	福田 美蘭	ゼフィロスから見たクロリスとフローラと三美神	1992
(4)	福田 美蘭	侍女ドーニャ・マリア・アウグスティーナから見た王女マルガリータ, ドーニャ・イサベル・ベラスコ, 矮人マリア・バルボラ, 矮人ニコラシート・ペルトゥサートと犬	1992
3	炎 芸術 No.165 2026 春 特集「世界で輝く日本陶芸」p.15、2026 年 2 月 1 日発行		
(1)	稲崎 栄利子	現像	2018
4	文部科学省検定教科用図書 高等学校芸術科美術Ⅲ 令和10年度版「新・高校生の美術3」及び関連出版物等、2028年4月発行予定		
(1)	福田 美蘭	侍女ドーニャ・マリア・アウグスティーナから見た王女マルガリータ, ドーニャ・イサベル・ベラスコ, 矮人マリア・バルボラ, 矮人ニコラシート・ペルトゥサートと犬	1992
5	日本経済新聞社 畠中実「美の十選」(4)、日本経済新聞朝刊文化面、2026 年 3 月 10 日発行		
(1)	田中 敦子	電気服	1956(86再制作)

(6) 美術館ボランティアの活動

ア 美術館ボランティア

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティアcivi(シヴィ)を設置し、平成11年度から活動を行っている。令和7年度に追加募集し、第8期生として8名を新規採用した。（令和7年度登録者数23人)。香川県令和7年度ボランティア大賞を受賞。

イ 美術館ボランティアによるギャラリートーク

特別展	開催回数(回)	参加者数(人)
エドワード・ゴーリーを巡る旅	8	221
石田尚志 絵と窓の間	7	113
蒟醤 山下義人展	4	60
アニメーション美術の創造者 新・山本二三展	11	151
合 計	30	545

※参加者数は展覧会入場者数と重複

（7） 高松市美術館サポートショップ事業

高松市中央商店街等周辺店舗と連携し、周辺の活性化及び美術館来館者の増加を目指すことを目的として、平成24年度から実施している。

美術館は、店舗を利用又は訪問した方々に渡すための割引券（特別展を2割引で鑑賞可）を店舗に提供する。（割引券を利用して観覧した人　274人）

また、店舗の一部においては、特別展の半券又は有効期間中の定期観覧券を提示することで、商品割引等が受けられる独自特典を提供する。

令和3年度からは、各商店街組合の協力の下、加盟店舗への展覧会チラシの一斉配布を行い、高松市中央商店街との一層の連携強化に努めた。

令和7年度の展覧会チラシの配布対象店舗（商店街組合加盟店）は約740店舗。サポートショップ加盟店舗（商店街組合非加盟店も含む）は34店舗。

（8） ブランチギャラリー

高松丸亀町商店街振興組合と連携し、高松丸亀町商店街に移転オープンした「しごとプラザ」のショーウィンドーにおいて、高松市美術館の新しい展示空間「ブランチギャラリー」を令和3年3月13日に開設し、高松市美術館と高松市塩江美術館両館の展覧会関連やゆかりの展示を企画したり、文化芸術振興課と共催の上、本市文化奨励賞受賞作家展も開催している。

展覧会名	会期
令和5年度高松市文化奨励賞受賞作家展「高松明日香　光の返照」	1/28（火）～4/13（日）
特別展「エドワード・ゴーリーを巡る旅」関連展示	4/15（火）～6/8（日）
特別展「石田尚志　絵と窓の間」プレイベント展示	6/10（火）～8/4（日）
特別展「石田尚志　絵と窓の間」関連展示	8/8（金）～10/5（日）
樋口聡 作品展「ザ・グニャグニャパーク」	10/7（火）～12/7（日）
令和5年度高松市文化奨励賞受賞作家展「郷祥 Invisible Forms」	12/9（火）～2/8（日）
usagiringen「トンビとウサギ、賑わいのとなりで／Beside the bustle, Sky and Earth #2」	2/10（火）～4/19（日）

（9） ICTの活用

ア SNSのフォロワー数 （令和8年3月31日現在）

Facebook	1，455人
X（旧Twitter）	2，652人
YouTube	710人
Instagram	9，755人

イ 無料Wi-Fiスポットの整備

インターネットが無料で接続できるWi-Fiスポットを、令和7年1月から拡大し、来館者スペース全てに無料Wi-Fiスポットを整備した。

ウ 収蔵品等を電子アーカイブ化し公表している。（現在、2,043件）

（10） キャッシュレス化

市民サービスの向上及び新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和4年3月1日からキャッシュレス決済システムを導入した。観覧料や図録代金等の支払の際に、クレジットカードや電子マネーの利用が可能となっている。

※キャッシュレス決済利用率：36.4％（令和8年3月31日現在）

（11） 自己評価

令和7年度の事業活動や運営についての振り返りを行うため自己評価を行った。令和5年度までは、公 益財団法人日本博物館協会がインターネット上で提供するサービス「博物館自己点検システム」に基づき実施してきたが、現在、同システムがリニューアルのためサービスを休止中であることから、同システムの評価項目を参考に、時代の変化とともに博物館に対して新たに求められる役割や課題を項目に追加し、評価を実施した。

結果は下記のとおりであり、全体の達成度は100点満点中91.5点となった。

【結果】

領　域	R7 年度			（参考）R6 年度		
	全項目数	達成項目数	達成度（%）	全項目数	達成項目数	達成度（%）
A 館長・館の経営責任	16	13	81.2	16	13	81.2
B 利用者・市民・地域との関係	15	15	100	15	15	100
C 展示	16	16	100	16	16	100
D 教育普及	16	15	93.7	16	15	93.7
E 学芸員・一般職員	11	9	81.8	11	9	81.8
F 調査研究	9	7	77.7	9	7	77.7
G 資料・コレクション	16	15	93.7	16	15	93.7
H 施設・アメニティー	19	18	94.7	19	19	100
合計	118	108	91.5	118	109	92.3

（12） 「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト

瀬戸内国際芸術祭2025の広域連携事業として開催される「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト（2023年度～2025年度）で、令和5年度に実行委員会（事務局：公益財団法人　福武財団）が発足し、高松市美術館は香川・岡山・兵庫にある7つの美術館とともに参加した。

同プロジェクトは国内外の来場者を瀬戸内に誘引し、瀬戸芸会期中に瀬戸内の主たる美術館で日本の現代アートの展覧会を開催するなど、瀬戸内が現代アートを通じてメッセージを発信すること等を目的としている。

令和7年度は、特別展「石田尚志　絵と窓の間」において、美術館外壁に石田氏がこれまでに制作した映像作品などを重ねて投影する「映像プロジェクション」を開催した。

2 高松市塩江美術館

年間利用者数等 15,882人（開館日数 308日）

（1）展覧会・貸館

美術館主催事業として企画展及び常設展を開催した。

ア 展覧会

・開催展数 9展(企画展 6展、常設展 3展)
・開催日数 554日
・入場者数 13,151人(1日平均 23.7人)

（ア）企画展

・開催展数 6展
・開催日数 264日
・入場者数 6,465人(1日平均 24.5人)

展覧会名	会期	日数(日)	入場者数(人)	展覧会の内容
reiko.matsuno みんなひかり	4/8(火) ～6/1(日)	48	1,307	アーティスト reiko.matsuno（香川県在住）が、「光」をテーマに制作した 100 点を超えるイラスト原画と、陶芸、張り子作品などを紹介した。
第39回 思可牟展	6/10(火) ～8/3(日)	48	1,360	京都市立芸術大学を修了した香川県出身または在住の美術グループ「思可牟」による絵画、漆芸、陶芸、染色、立体、映像など表現の様々な作品を一堂に紹介した。
オスカー・ロベラス展 Résonances-共鳴-	8/16(土) ～10/5 (日)	44	1,069	フランス人芸術家・オスカー・ロベラスが、「Résonances-共鳴-」をテーマに空間と色彩、素材に焦点を当て制作したインスタレーション作品を紹介した。
武内優記展 「星屑のケイショウ」	10/18(土) ～12/7 (日)	44	1,319	徳島県在住のアーティスト・武内優記による宇宙空間での地球の誕生をテーマにしたアート装置や、物質の根源を想起する立体作品を紹介した。
松村武夫 里山・里浜の快感	12/16(火) ～2/8(日)	43	675	香川県在住の美術家・松村武夫が、里山・里浜を歩く時に得られる小さな発見や心地よい感覚を表現した絵画作品などを紹介した。
高松市合併20周年記念 高松市塩江美術館コレクション＋(プラス)「塩江中学校＋中井弘二郎『feel with words』」	2/17(火) ～3/31(火)	37	735	塩江町出身の儒学者・藤澤東畡や藤澤南岳の書と併せて、塩江町出身の彫刻家・中井弘二郎と高松市塩江中学校の全校生徒が交流し、「美しいことば」をテーマに制作したモニュメントを展示した。
合計		264	6,465	

（イ）常設展

美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間3回の入れ替えで展示。

・開催日数 290日
・入場者数 6,686人(1日平均 23.1人)

展覧会名	会期	日数(日)	入場者数(人)	展覧会の内容
※高松市塩江美術館開館30周年記念 第Ⅲ期常設展 はじまりを新しむⅢ 「日々是好日」	4/1(火) ～4/13(日) ＊会期は令和7年1/4(土)から	12	247	開館30周年の新たなはじまりを記念して、日常の何気ない風景やそこにいる人々、穏やかなひと時を切り取った作品を、熊野俊一を中心に、香川出身の画家・伊東義久と江戸健の作品も併せて33点を紹介した。
第Ⅰ期常設展 「色と光の表現-天窓のある美術館で-」	4/19(土) ～8/24 (日)	110	2,868	「色と光」をテーマに、丸亀市出身の洋画家・江戸健の作品を中心に21点を紹介した。
第Ⅱ期常設展 「高松市合併20周年記念　塩江の人々と風景と」	8/30(土) ～12/27 (土)	103	2,311	高松市合併20周年を記念して、塩江で行われてきた芸術活動や、塩江の人々と風景にまつわる作品を紹介した。
第Ⅲ期常設展 「川島猛　DREAMS」	1/10(土) ～3/26 (木)	65	1,260	現代美術家・川島猛(1930～)の作品と、かつて川島の助言から塩江町で開催された『日米ヤング・アーティスト・フェスティバル』で制作された共同作品を併せて紹介した。
合計		290	6,686	

※年度をまたいでの開催(年度別の実績)

(2) 教育普及活動

企画展での作品解説や展示に合わせたワークショップやイベント等を開催した。

ア ギャラリートーク

展覧会名	開催日	作家等	参加者数(人)
オスカー・ロベラス展 Résonances-共鳴-	8/30(土)	オスカー・ロベラス (芸術家)	20
武内優記展「星屑のケイショウ」	10/25(土)	武内優記(美術家)	12
松村武夫　里山・里浜の快感	1/24(土)	松村武夫(美術作家)	15
合計			47

イ ワークショップ

開催日	講師	内容	対象	場所	参加者数(人)
4/5(土)～ 13(日)の土・日曜日	―	ちょこっとアート 「チラシでつくる三角コインケース」	来館者	デッキ	10
4/19(土)・ 5/18(日)	reiko.matsuno (アーティスト)	「いきもののようなものをつくろう」	年中児～ 小学4年生	デッキ	18
5/3(土) ～6(火)	―	ちょこっとアート 「ひらひらちょうちょをつくってみよう」	来館者	デッキ	30
6/14(土)	展覧会出品作家	「日本画を体験してみよう！」	小学生以上	陶芸室	20
7/6(日)	河﨑まゆ子(画家) 長谷川隆子 (切り絵作家)	「塩江のふしぎないきものをつくろう」	4歳～ 小学生	陶芸室	9

開催日	講師	内容	対象	場所	参加者数(人)
8/5(火) ～31(日)	―	ちょこっとアート 「塩江美術館周辺の草花の押し花とチラシでつくるしおのえホタル」	来館者	デッキ	101
9/15 (月・祝)	オスカー・ロベラス (芸術家)	「フランス版画」に挑戦しよう！	高校生以上	陶芸室	12
11/1(土)	武内優記(美術家)	『むにっ、ぎゅっ、ぽこん、とつくる彫刻』	年中児以上	陶芸室	8
合計					208

ウ イベント(公開制作、展示体験会)

開催日	講師	内容	対象	場所	参加者数(人)
8/16(土) ～22(金)	オスカー・ロベラス (芸術家)	公開制作	来館者	企画展示室	142
2/13(金)	中井弘二郎 (彫刻家)	鑑賞・展示体験会	高松市立 塩江中学校 全校生徒	企画展示室	32
合計					174

エ 出張美術館

開催日	講師	内容	開催場所	参加者数(人)
10/31(金) ～11/2(日)	当館学芸員	「令和7年度塩江地区文化祭」での美術館の紹介	高松市塩江コミュニティセンター	137

オ 陶芸教室

開催日	講師	内容	開催場所	受講者数(人)
8/9・23・30 9/6・13・20・27 10/11	田淵太郎 (陶芸家)	全8回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作	陶芸室	40

カ 塩江美術館の日（11月第2土曜日）

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう、高松市美術館の開館記念日にちなみ8月に高松市美術館と同日開催していた「美術館の日」について、令和7年度から、「塩江美術館の日」として、地域の豊かな自然に触れられる11月第2土曜日に変更して開催し、多くの市民が集い、楽しみ、にぎわう美術館となるよう観覧料の免除や、ワークショップ等を実施した。(令和7年度は11月8日に開催)

また、高松中心部から塩江町までの公共バスの減便により利便性が悪くなっていたことから、高松市美術館と塩江美術館を往復する公用バスを運行した。(往復バス利用者 14 人)

・常設展、企画展観覧者　338人　※展覧会入場者数と重複
・ワークショップ参加者　390人

キ 美術館学習等

美術館見学として県内の小学校を受け入れ、展覧会鑑賞や施設見学、ワークショップを行った。

・参加校　5校
・参加者数　208人　※展覧会入場者数と重複

ク 学校との連携事業

展覧会鑑賞やワークショップ実施後、学校と美術館の連携事例や美術館の活用について紹介した。

実施日	内容	参加者	開催場所	参加者数(人)
7/22(火)	香小研高松支部図画工作部会夏季研修会	市内小学校図工部会教員	展示室・陶芸室	50
7/25(金)	香中研高松支部夏季研修会	市立中学校美術教員	展示室・陶芸室	26
合計				76

ケ 動画配信等

新たな美術鑑賞の手法として、展覧会展示風景をYouTube等で動画配信した。
合計1，304人 ※令和7年3月から配信開始

YouTube動画配信

公開月(1か月間)	配信本数(本)	視聴者数(人)
4月	1	99
5月	0	41
6月	1	63
7月	1	74
8月	0	23
9月	1	57
10月	2	193
11月	0	28
12月	1	147
1月	0	212
2月	0	141
3月	2	226
合計	9	1,304

（3） 芸術的催し物

開催日	行事名	内容	場所	参加者数(人)
2/21(土)	第6回高松国際ピアノコンクール 交流演奏会	第6回高松国際ピアノコンクール出場者2名による演奏会	常設展示室	30

（4） 公有財産目的外使用(貸出)

開催日	行事名	内容	場所	参加者数(人)
4/6(日)	桜フリーマーケット	カフェ主催によるフリーマーケットを開催	デッキ	325

（5） 美術資料の収集

ア 収集の方針

（ア） 香川県にゆかりのある作家の作品

（イ） 塩江に関する資料等

イ 美術資料等の収集

美術品の収集方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入・寄贈などにより美術品の収集に努める。

（単位：点）

区　分		洋画等	日本画	彫刻	工芸	書	その他	計
令和7年度 取得作品	購 入	－	－	－	－	－	－	－
	寄 贈	－	－	－	－	－	－	－
合　計		－	－	－	－	－	－	－
累　計		677	7	12	15	119	459	1,289
内　訳	購 入	47	－	6	9	－	1	63
	寄 贈	630	7	6	6	119	458	1,226

※その他（写真、熊野俊一資料、藤澤東畝関連書籍、芸術祭作品）

■新規収蔵作品

令和7年度の取得作品は無し。

（6） 自己評価

令和5年度までは、公益財団法人日本博物館協会がインターネット上で提供するサービス「博物館自己点検システム」に基づき実施してきたが、現在、同システムがリニューアルのためサービスを休止中であることから、同システムの評価項目を参考に、時代の変化とともに博物館に対して新たに求められる役割や課題を追加し、評価を実施した。

結果は下記のとおりであり、全体の達成度は78．8%となった。「H施設・アメニティー」項目では、令和7年4月より観覧料のキャッシュレス決済を導入した。また、来館者向け無料Wi-Fiサービスを令和8年度に実施予定としている。

【結果】

領　域	R7 年度			（参考）R6 年度		
	全項目	達成 項目数	達成度 （%）	全項目	達成 項目数	達成度 （%）
A　館長・館の経営責任	16	12	75.0	16	12	75.0
B　利用者・市民・地域との関係	15	13	86.7	15	13	86.7
C　展示	16	13	81.3	16	13	81.3
D　教育普及	16	14	87.5	16	12	75.0
E　学芸員・一般職員	11	9	81.8	11	9	81.8
F　調査研究	9	4	44.4	9	4	44.4
G　資料・コレクション	16	14	87.5	16	14	87.5
H　施設・アメニティー	19	14	68.4	19	13	68.4
合計	118	93	78.8	118	90	76.3

令和8年度事業計画

1　新規事業等

○　新規・拡充事業（主なもの）

ユニバーサルミュージアムの推進

（１）　やさしい日本語による作品解説
　外国人や高齢者、子どもにも理解してもらえるように、分かりやすい言い回し、ルビ付きの漢字、短めの文章による説明文などを掲示するもの。

（２）　多目的トイレの自動扉化（高松市美術館）
　多目的トイレ(１階)の引き戸を自動扉化し、障がいのある方等が利用しやすいよう、利便性の向上を図る。

他分野との連携

（１）　サンポート高松地区周辺施設等との連携（高松市美術館）

効果的な情報発信

（１）　インスタグラムを開設し、展覧会情報等を発信する。(塩江美術館)

施設の有効活用

（１）　創意工夫を凝らしたカフェやミュージアムショップの運営（高松市美術館）

ＤＸの推進

（１）　オンラインチケットシステム等の導入(高松市美術館)

（２）　Wi-Fiスポットの整備(塩江美術館)

○　継続する事業（主なもの）

展覧会の充実

（１）　巡回展
幅広い分野から集客性や先進性等のバランスに配慮

（２）　現代アート展
新しい世代のアーティストを含めた作家の紹介(アニュアル展)

（３）　コレクション展
当館コレクションと関連アーティストを組み合わせて紹介

教育普及事業の充実

（１）　各講座や市政出前ふれあいトーク等の実施、こどもアートスペース等の活用

美術品の適正な収集・保管・公開

（１）　収蔵美術品が、国内外の美術館に貸し出されているとともに、教科書を始め各種出版物への掲載依頼があるなど、高い評価を得ている。

地域、市民ボランティア、友の会等との連携

（１）　「美術館の日」等の開催により、市民に開かれた美術館であるとともに、多様な主体との連携・協働を推進する。

ＤＸの推進

（１）　動画配信
動画配信により、新たな美術品鑑賞等の機会を提供する。

（２）　ＳＮＳの活用
Facebook、Instagram等を活用した、効果的な情報発信を行う。

（３）　キャッシュレス化
観覧料等の納付について、クレジットカード等を利用したキャッシュレス決済に対応。

学校との連携強化

（１）　小中学校(瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内を含む)への展覧会案内に加え、美術館学習やお出かけ美術館の開催など。

施設の有効活用

（１）　エントランスホールを活用し、友の会コンサート等に加え公募によるコンサート等を開催。

2　高松市美術館

国内外の優れた美術作品の展覧会の充実、系統的な美術品の収集を進めるとともに、ワークショップや講座等、子どもたちが豊かな感性を育むことができる教育普及事業の充実に取り組んでいく。

また、中央商店街に近接した都市型美術館という立地条件を生かし、地域との連携の強化により、まちづくりと一体となった取組を進め、都市機能の向上に寄与する美術館を目指す。

更には、誰もが来館しやすく魅力ある美術館とするため、エントランスホールの活用の充実など各事業に積極的に取り組む。

（1） 展覧会・貸館

ア　特別展

展覧会名	会　期	日数(日)	内　　容
宇野亞喜良展 AQUIRAX UNO	4/18(土) ～6/14(日)	50	日本を代表するイラストレーター、グラフィックデザイナーとして活躍し続ける宇野亞喜良（うのあきら／1934～）。 その創作は、イラストレーションのほかにも多岐におよび、1950年代初めのデビュー以来、活動の範囲は限りなく広がっている。 本展では、1950 年代の企業広告を始め、1960 年代のアングラ演劇ポスターや絵本・児童書、近年の俳句と少女をテーマとした絵画など、貴重な原画や資料等を紹介する。
ハッチポッチ 藤枝リュウジの世界	7/18(土) ～9/23(水・祝)	59	イラストレーター＆アートディレクターとして半世紀以上のキャリアを持ち、今なお精力的に制作を続ける藤枝リュウジ（1943-）。 本展は、絵本や装幀、個展作品などのイラストレーション作品と、パペット番組「ハッチポッチステーション」を始めとしたテレビ・広告などのアートディレクション作品から 500 点以上を紹介する、初めての大規模展覧会。愉しげな音色が聞こえてくるような、藤枝リュウジの「ハッチポッチ」な世界を楽しむもの。※ハッチポッチ＝hotch potch＝ごった煮
動く！展 ―光と音と運動の芸術	10/10(土) ～11/29(日)	44	第二次世界大戦後の日本で、それまでの絵画や彫刻という枠を超えた新しいメディアを使った美術作品が登場し、その後現在まで様々な素材・技術を取り入れながら日本の現代アートは多様に発展した。本展では、1988年の開館当初から収集を続け、国内外から高い評価を得ている「戦後日本の現代美術」コレクションを中心に、日本の「動く」アートの展開を紹介する。
高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.13	1/30(土) ～3/14(日)	38	本展覧会シリーズではこれまで、独創性や創造性のある現代美術作家をグループ展形式で紹介し、新しい芸術表現を高松から発信してきた。14回目となる今回は、高松を拠点に活動する大川原暢人や京都を拠点に国内外で活動する宮田彩加を始め多彩な作品を生み出す作家たちを紹介する。また、アーティストトークなどのイベントも開催予定。
4 展覧会		191	

イ　コレクション展

展覧会名	会　期	日数(日)	内　　容
第１期	4/4(土) ～6/28(日)	74	展示室1　描いて、つくる―2025年度新収蔵作品を中心に展示 展示室2　香川における工芸の系譜―2025年度新収蔵作品を中心に展示
第２期	7/4(土) ～9/27(日)	74	展示室1　［現代の美術］私たちの生きる時代を感じさせる戦後日本の美術、また、これに関連のある20世紀以降の世界の美術を順次展示。 展示室2　［讃岐漆芸と金工］ 玉楮象谷に始まる讃岐漆芸、北原千鹿を中心とする金工の流れを中心に展示。 ※3/13～3/28の期間は、常設展示室1において「第44回日本伝統漆芸展」を開催。
第３期	9/30(水) ～12/27(日)	77	
第４期	1/5(火) ～3/28(日)	70	
４期		295	

ウ　貸館

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリー・講堂を提供する。

（２）　教育普及活動等

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やミニコンサートなどを開催するほか、教育普及活動を行う。

ア　講演会等の開催

イ　アートアドバイザー講座

当館アートアドバイザーによる講座を数回実施する。

ウ　ギャラリートーク

エ　ワークショップ

地元講師や県外講師による、子どもをはじめとする幅広い世代を対象とした、多彩な内容のワークショップを随時開催する。

オ　ふらっとアート

リニューアルオープンにより新設された「こども＋(プラス)（こどもアートスペース）」を活用し、「ふらっとアート」など、誰もが気軽にアートを楽しむことができるプログラムを提供する。

カ　出前講座等

当館学芸員が施設や学校等に出向き、「アートで遊ぼう」や「出張美術館」等を実施する。

キ　美術館学習

展覧会の鑑賞教育等学校活動分野の積極的な活用を図るために、屋島・美術館・水族館学習参加校のうち、希望校を美術館でも受け入れる美術館学習を実施する。

ク　高松市美術館の日（８月第１土曜日）

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう、また、高松市美術館が昭和６３年８月６日

（土）に開館したことにちなみ、８月の第１土曜日を「高松市美術館の日」と定め（平成２１年７月）、多くの市民が集い、楽しみ、にぎわう美術館となるよう観覧料の免除や親子で楽しめるイベントなどを実施する。（令和８年度は、８月１日に実施）

ケ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

（３） 施設の提供

美術館の講堂を講演会、コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供するほか、エントランスホールを作品展示やコンサート等に活用する。

（４） 美術資料の収集・公開

美術品の収集方針に基づき、美術館に収蔵する美術品の収集に努める。また、美術館の二次資料として美術図書及び映像資料を継続的に収集するとともに、高松市収蔵品情報システムの活用等によりこれら収蔵資料の積極的な公開に努める。

（５） 美術館ボランティアの活動

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティアｃｉｖｉ（シヴィ）によるギャラリートークを実施するとともに、ワークショップの補助を行う。

（６） 高松市美術館サポートショップ事業

高松市中央商店街等周辺店舗と連携し、周辺の活性化及び美術館来館者の増加を目指すことを目的として実施している。

美術館は、店舗を利用又は訪問した方々に渡すための割引券（特別展を２割引で鑑賞可）を店舗に提供する。また、店舗の一部においては、特別展の半券又は有効期間中の定期観覧券を提示することで、商品割引等が受けられる独自特典を提供するなど、提携事業を実施する。

また、各商店街組合事務所の協力の下、商店街組合加盟店舗への展覧会チラシの一斉配布を行い、高松市中央商店街との一層の連携強化に努める。

（７） ブランチギャラリー

高松丸亀町商店街組合との連携事業として、高松丸亀町商店街の「しごとプラザ」ショーウィンドーに開設中の「ブランチギャラリー」において、年間を通して特別展等と連携するなど多彩な展示を行う。

（８） ＤＸの推進

美術館独自のＳＮＳ（Facebook、X（旧Twitter）、Instagram）及びYouTubeによる動画配信等の積極的な活用により効果的な情報発信を行う。

また収蔵作品を電子アーカイブ化し、公開する。オンラインシステムの導入を令和８年度中に実施する。

（９）「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト

「瀬戸芸美術館連携」プロジェクトに引き続き参加し、瀬戸内国際芸術祭２０２８における各種事業の準備等を行う。

3　高松市塩江美術館

山間の豊かな自然環境に立地する地域特性をいかした、文化芸術を楽しむ空間作りを目指し、展覧会の充実や地域に根差した取組を進める。

（1） 展覧会・貸館

ア　展覧会

（ア） 企画展

展覧会名	会　期	日数(日)	展覧会の内容
三村則子回顧展 －夫・昌哲と二人三脚で育てた世界－	4/18(土) ～5/24(日)	32	型絵染師・三村則子（1936-2018）が、自宅の庭など、ごく身近にある草花が持つ生命の美しさを描いた作品３５点を紹介する。
長谷川隆子「刻の方舟」	6/13(土) ～8/2(日)	44	切り絵作家･長谷川隆子(1981年愛媛県生まれ）が生み出す大胆かつ繊細な切り絵作品を暗所でライトアップしてみせることで、幻想的な空間を展示する。
あそびにおいでよ！２ ～2026夏休み 大島よしふみ彫刻展～	8/11(火・祝) ～9/23（水・祝）	39	常に新たな作品に挑戦する彫刻家・大島よしふみ（1954年高松市生まれ）による展覧会。夏休みをテーマに自然の迷路や昆虫などの作品を展示する。
辻野榮一＋辻野由樹　２人展「いきものばかり」	10/10(土) ～11/29(日)	44	いきものをテーマとした彫刻家・辻野榮一が作る有機的なフォルムの木彫と焼き絵、イラストレーター・辻野由樹が描く鮮やかなイラストを紹介する。
orm展(仮)	12/12(土) ～2/7(日)	44	美術作家・藤井智也と高橋ちかやによるアーティストユニットormが、身近な事象や社会的なアイデンティティに対する問題に焦点を当てた作品を、様々なメディアを横断しながら展開する。
コレクション展(仮)	2/20(土) ～3/31（水）	34	２人の洋画家・小林正六（1917-2006）と江戸健（1927-2017）の作品を中心に当館収蔵品を展示する。
６展覧会		237	

（イ）常設展(３期)

美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間３回の入替えで展示する。

展覧会名	会期	日数(日)	展覧会の内容
第Ⅰ期常設展 自然の中の時間 Time in Nature	4/1(水) ～8/16(日)	119	香川県多度津町出身の画家・西澤智子の日本画作品と高松市出身の画家・木村景泉の屏風作品、合わせて６点を紹介する。
第Ⅱ期常設展	8/22(土) ～12/27(日)	110	当館収蔵品の中からテーマを設けて作品を紹介する。
第Ⅲ期常設展	1/9(土) ～3/28(日)	68	当館収蔵品の中からテーマを設けて作品を紹介する。
３期		297	

イ　貸館事業

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、企画展示室・ホールを提供する。

（２） 教育普及活動

企画展での作品解説や展示に合わせたワークショップやイベント等を開催する。

ア　ギャラリートーク

イ　ワークショップ

企画展に関連したワークショップの開催やデッキを活用した「ちょこっとアート」を実施し、来館者が気軽にアートを楽しむことができるプログラムを提供する。

ウ　イベント

エ　出張美術館

地元施設の文化祭等で「出張美術館」を実施する。

オ　塩江美術館の日（１１月第２土曜日）

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう、地域の豊かな自然に触れられる１１月第２土曜日に「塩江美術館の日」を開催する。多くの市民が集い、楽しみ、にぎわう美術館となるよう観覧料の免除や、ワークショップ等を実施する。高松市美術館と塩江美術館を往復する公用バスも運行する。（令和８年度は１１月１４日）

カ　博物館実習・インターンシップ・職場体験等

（３） 施設の提供

喫茶室の営業、美術館のデッキ等の貸出

（４） 美術資料の収集

美術品の取得方針に基づき、美術館に収蔵する美術品の収集に努める。

（５） ＤＸの推進

創造都市推進局のＳＮＳや美術館のYouTubeによる動画配信を積極的に活用し、効果的な情報発信を行う。

また、インターネットが無料で接続できるWi-Fiスポットを令和８年度中に展示室等に整備する。

４　令和８年度予算（訂正後）

（１） 歳入

（単位：千円）

区　　分			令和８年度	令和７年度	対前年比
使用料及び手数料	使用料	美術館展覧会等観覧料	36,149	44,294	81.6%
		美術館使用料	11,360	10,500	108.2%
	手数料	美術品等撮影許可手数料	16	21	76.2%
国庫支出金	国庫補助金	美術館運営事務費補助金	5,335	－	－
財産収入	財産運用収入	基金運用収入	34	6	566.7%
	財産売払収入	物品売払収入	2,039	2,000	102.0%
繰入金	基金繰入金	塩江美術館美術品等取得基金繰入金	－	－	－
諸収入	雑入	社会教育費収入	12,159	14,133	86.0%
市債	市債	美術館運営債	4,800	－	－
計			71,892	70,954	101.3%

（２） 歳出

（単位：千円）

区　　分	令和８年度	令和７年度	対前年比
美術館運営費 人件費(会計年度フルタイム・パートタイムほか) 各種機器リース料、消耗品費ほか	62,373	45,845	136.1%
美術館管理費 光熱水費、電話料、施設修繕料 各種委託料(警備・設備運転・空調保守・清掃)ほか	144,478	137,448	105.1%
展覧会費 高松市美術館 特別展費及び常設展費 塩江美術館 展示費	72,571	77,303	93.9%
美術教育普及費 ワークショップ開催費(両館)、ミニコンサート経費 こどもアートスペース材料費ほか	1,548	1,555	99.5%
美術資料収集費 美術品購入費及び補修費 収集審査委員会経費	12,021	11,920	100.8%
塩江美術館美術品等取得基金積立金 運用利息分	34	6	566.7%
計	293,025	274,077	106.9%